

ヘルプマークを知っていますか？

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、妊娠初期の人など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない人がいます。

ヘルプマークは、こうした人々が周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくするためのマークで、平成24(2012)年に東京都が作成しました。

平成29(2017)年7月20日、JIS規格(日本工業規格)の図記号に追加され、全国共通のマークになりました。

援助が必要な方のためのマークです。
このヘルプマークを見かけたら、
思いやりのある行動をお願いします。

ヘルプマークを見かけたら

- 電車やバスの中では、席をお譲りください
- 駅や商業施設などでは、声掛けや見守りなどの配慮をお願いします
- 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします



こんな援助が必要です

- 病気なので席を譲ってください
 - 手話が筆談をお願いします
 - 移動のときに誘導してください
 - 避難所まで案内してください
 - 大きな声や音が苦手です
- (自由記載)

※ 切り取って半分に折ると、透明なカードケースに入れて利用できます。
ヘルプマークのみを切り取って、利用することもできます。

他にもあります「障害者に関するマーク」



障害者のための
国際シンボルマーク



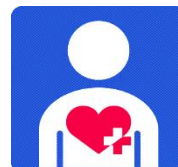
盲人のための
国際シンボルマーク



身体障害者識票
肢体不自由な方が運転する車に表示するマーク



ほじょ犬マーク
盲導犬・介助犬・聴導犬の
同伴を啓発するマーク



ハートプラスマーク
心臓等の身体内部に障害
のある人を表すマーク



手話マーク
手話が必要、手話で対応
できることを示すマーク



筆談マーク
筆談が必要、筆談で対応
できることを示すマーク